

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」<sup>ほうそうげんこう</sup> 放送原稿（４月３日（金）放送分）

## テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。

今年度も「読みむんマンディ」では、奄美図書館からのお知らせや、本の紹介などをたくさんお届けしてまいります。今回は、４月に入ったばかりの新しい本の中から５冊を紹介いたします。

はじめに、一般書を２冊御紹介します。

１冊目に御紹介するのは、山本 弘 著『翼を持つ少女 BIS ビブリオバトル部』という小説です。

皆さんは、ビブリオバトルという言葉をお聞きになったことはありますか？簡単に言うと、読んで面白いと思った本を一人５分間ずつ紹介して、参加者が一番読みたくなった本を選ぶというものです。昨年１０月に大島高校でも実施され、好評だったようです。

さて、この小説の舞台は美心国際学園（略して BIS）という中高一貫の私立学園です。この学園のビブリオバトル部に所属する個性豊かな生徒たちが、<sup>またた</sup>瞬く間に私たち読者を惹きつけていきます。まるで一緒にビブリオバトルに参加しているかのような臨場感を味わうことができます。きっと、「この本を読みたい！」と思える本がいくつも出てくることでしょう。巻末には、このお話の中で紹介された本のリストもついています。

一般書の２冊目に紹介するのは、『フランス人は１０着しか服を持たない』という本です。著者であるアメリカ人のジェニファー・Ｌ・スコットさんが、パリに留学し、フランス人の家庭にホームステイしたときの体験が記されています。フランス人といえばおしゃれな人が多い、というイメージがありませんか。フランス人のワードローブの中には服が１０着しかない、とは俄<sup>にわか</sup>には信じがたいのですが、上質なものと気に入ったものだけを長く使い、シンプルな暮らしを实践しているということです。この本は、日常生活における身だしなみやスタイル、食事について、それぞれの質を高めるための秘訣<sup>ひけつ</sup>が満載です。私たちの今の暮らしを見直すきっかけになることでしょう。

次に、児童書を２冊御紹介します。

１冊目に御紹介するのは、田島伸二<sup>た じましん じ</sup>作『ガウディの青い海』という物語です。ウミガメのガウディは、大都会にある地上１００階の水族館で暮らしています。ガウディは水族館を出て、本当の海に帰りたいと思っています。水族館に住む魚たちが大議論したすえ、飼

育員たちの目をうまくだまして無事に海に帰ることができるのですが、懐かしいはずの自然の海は、人間の手によって住みにくくなっていたのです。それでもガウディは幸せな生活を求めて命がけで泳いでゆくのです。衝撃の結末が待っているとも知らずに……。地球上のすべての生き物たちが幸せに生きていけるように願う、著者の強いメッセージがこめられています。

児童書の2冊目に紹介するのは、塚本<sup>つかもと</sup>やすし作『いきものどこや』という絵本です。床屋さんに行くと、人間ではなく、カニやクワガタ、ノコギリザメなどいろいろな生き物たちが髪を切ってくれるのです。お客さんたちが次々とこやさんに入っていくと……みんなまあ大変身！どんなヘアースタイルになっているのか、それは読んでみてのお楽しみです。こんな床屋さん、あったらきっと繁盛するでしょうね。

最後に、郷土に関する本の御紹介です。

『聞き書き・島の生活誌 第7巻 木にならう～種子・屋久・奄美の暮らし～』という本を紹介いたします。種子島・屋久島・奄美大島に住んでいる方々に、シマでの生活についてインタビューしたものをまとめたものです。住用の摺勝<sup>すりがち</sup>に住んでいる森田<sup>もりた</sup>さんの暮らしの様子、瀬戸内町<sup>かとく</sup>嘉徳に住んでいる徳<sup>とく</sup>さんの炭焼きの話などが収録されています。この、『聞き書き・島の生活誌』シリーズは全巻図書館に揃っていますので、他の巻も合わせて御覧ください。

このほかにも様々なジャンルの新しい本がたくさん入っています。どうぞお気軽に図書館へお越しください。

以上、鹿児島県立奄美図書館でした。